

エレナ (Elena) 島における環境監視

- 1 自治体名 沿海地方 (Promorsky Territory)
- 2 発表者名 キレーエフ P. A. (Kireev P. A.)
シコトフスキー (Shkotovskiy) 地方アニーシモフカ村 (Anisimovka)
第 28 総合学校
- 3 活動名 エレナ (Elena) 島における環境監視
- 4 発表要旨

人間は自然の王と呼ばれているが、
自然を治めるために必要な知恵は、
自然からもらうものではない。
経験を重ねてためるべきものです。

N.I. Lobachevskiy

この言葉は 150 年前の格言です。

当時、有名な哲学者のこの言葉は誰も理解できなかった。理解できなくて、忘れてしまった。

人間の手に自然に悪質な影響を与えるものがある現在は、この言葉の意味がやっと伝わってきた：自然を支配するのではなく、自然と仲良くする、自然法を破って行動するのではなく、自然法に従って行動する、自然をやさしく、傷をつけないように取り扱う。

これは口バチーフスキー氏が我々に伝えたかったことです。

自然はいきいきしているとても敏感なもの、私たちの一番軽い行動でも直ぐに反射されま

す。
私たちの今の行動によって将来の将来に残す自然の状況が決まる。

有名なルスキー (RUSSKIY) 島は巨大ピョートル湾 (PYOTR VELIKIY) (日本海) に位置するエレナ島は、ルスキー島のもっともロマンチックなところで毎年ウラジオストク市民や観光客の中で人気を高めている。入港に便利な数々の入江、市からの距離が短いこと、ウラジオストク保塁 (ホルイ) の歴史的な観光スポット、豊富な海の幸などが人気のもとである。

近年の観光客の低い環境知識のため、あっちこち捨てられた数々の袋や割れたビン、折れた木の枝などが見られるようになった。

この環境問題の解決と青少年の環境啓発に努める一つの事業例は、ウラジオストク市の NPO ロシア緑十字環境教育研究室が実施している「継続環境保全プロジェクト『エレナ島における環境監視』」である。

島の入江での環境監視を、環境学者スメターニン・ヴィクトルとスメターニナターリアが考えて、1998 年に初めて監視が実施されるようになった。実施以来観光客に踏み潰された入江の美しい緑が回復し、ワイルドローズなど野生の花が咲くようになった。

現在、エレナ島の第 9 号入江は巨大ピョートル湾でもっともきれいな入江になった。

市民環境監視活動には、沿海地方中の教師やジュニアナチュラリストが参加している。活動は、地元の森林管理局でスケジュールを一度確定してから行われる。

監視されている南・南西部の海岸と森林の総面積は 2 km²で、環境監視活動は極東海洋基金、ロシア連邦就職管理局、エコツーリズム会社パシフィックインツアー (PACIFICINTOUR)、環境会社トランス・エコ (TRANS ECO) の支援によって行われている。(なお、調査研究

に関するコンサルティング業は植物公園、自然・文化遺産保護管理センターによって行われた。))

環境監視をする管理グループはほとんどノーオスフェーラ「NOOSFERA」エコクラブのメンバーで、事務局が24時間営業テント街に位置し、2004～2007年には10～15日間程度環境監視活動を実施していた。

環境監視をする管理グループの1日はスケジュールによって決まっており、うち毎日4時間は監視面積の改善、また3時間は調査研究に費やされている。

活動内容は、明るい内に海岸、森林、海を監視し、到着する観光客にマナーを説明し、マナーが守られるように監視するとともに、違反、変更について記録する。

また、毎日、朝と晩、海岸でごみを拾う。拾った、または観光客が持ってきた生活ごみは、プラスチック製の袋に入れ、次に環境会社トランス・エコ(TRANS ECO)の船で焼却所に運送するため、指定された場所に収集される。

森林法違反を発見した場合、監視団のリーダーは書類を作成し、プロジェクトのリーダーに対策を採るために渡す。違法な狩などについては、詳細に記録し、連邦機関に通報する。

各団の監視結果について報告書を作成し、毎年11月30日までNPOロシア緑十字環境教育研究室に提出する。

私は監視団で活動した時、森林法違反3件、海洋法違反7件、違法漁業4件を見つけた。

強い海嵐の後には、海岸に漂着した200個のウニと300個のヒトデを海に返した。

エレナ島第9号入江のユニークなエコシステムを見て、私たち生徒は、この美しい自然、きれいな海と独特な動・植物界の保全方法を考えた。

まず、私たちは、環境保護プログラムを作成する前に、この環境への人間による負担を把握しなければならないと思い、私たちの監視団は環境モニタリングと海岸環境調査を実施した。調査対象項目は、地形、植物、動物、水質、土壌、エネルギー使用量、許可と違法漁業量、海ごみ調査などである。

調査結果によって、エレナ島第9号入江のエコシステム修復には、下記の対策が必要と判断した。

1. 漁業を禁止すること
2. 環境保全事業を継続的に行うこと
3. もっとも人工の影響に弱い植物の苗を植えること

2004年には、環境監視団に参加した経験を地元の環境保護に活用させることができた。その年、私たちは、アニシモフカ村に400株の野生蔓植物を植えた。

環境監視団は生徒にも観光客にも非常に良い体験であると思っている。次回参加する時、捨てられたごみによって発生する有害物質の人間へ影響について調査したいと思う。